

株式会社日本アルファ

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年5月21日～ 2024 年5月20日)

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、地球規模での環境保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規等を遵守します。
- 2 . 事務所での電気使用量及びガソリン使用量、L P ガスの使用量を減らし、C O₂の排出量を削減します。
- 3 . 事業上の廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
- 4 . 工場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
- 5 . 試験等で使用する資材の化学物質を削減します。
- 6 . 環境に配慮した梱包を促進します。
- 7 . グリーン購入の拡大を推進します。
- 8 . この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日： 2022年7月19日

株式会社 日本アルファ
代表取締役社長 太田 慎一

□組織の概要

更新日：2022年7月19日

(1) 名称及び代表者名

株式会社日本アルファ
代表取締役社長 太田 慎一

(2) 所在地

本 社 三重県三重郡朝日町小向558番14
東日本工場 千葉県茂原市にいほる工業団地6
日本アルファック(株) 三重県三重郡朝日町小向551番地2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	営業部	宮田 直欣	TEL：059-377-2100
担当者	総務部	北住 嘉規	TEL：059-377-5445

(4) 事業内容

住宅設備機器の企画、製造、販売

(5) 事業の規模

売上高 217,325 万円

	本 社	東日本工場	日本アルファック(株)	合計
従業員 名	17 名	8 名	54 名	79名
敷地面積 m ²	278.66 m ²	4,185.77 m ²	885.94 m ²	5,350.4m ²

(6) 事業年度

5 月 21 日 ～ 5 月 20 日

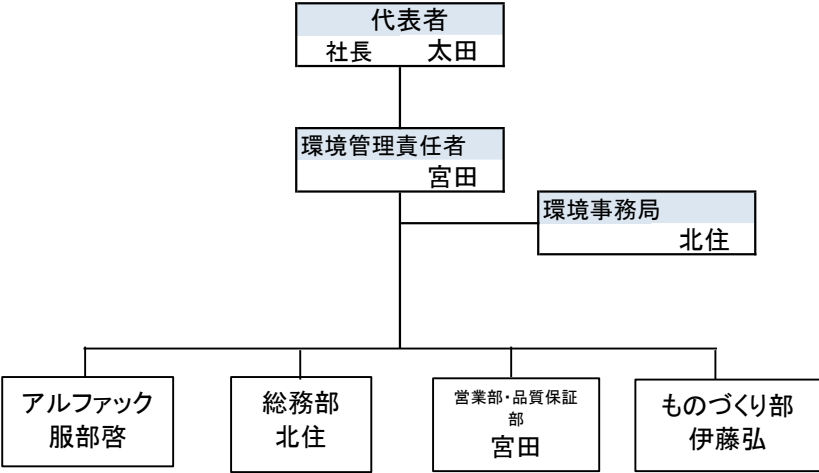
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社日本アルファ
対象事業所：本 社
東日本工場
日本アルファック(株)

活動：住宅設備機器の企画、製造、販売

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2019年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む ③環境管理責任者を任命する。 ④環境方針の設定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。 ⑨全従業員に対する教育・訓練プログラムを定め、教育・訓練計画表を作成し、これを実行する。
環境事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③法規制等の取りまとめ及び遵守状況チェックリストを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
部門長	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	104,513	93,230	90,351
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	7,702	7,863	8,205
産業廃棄物排出量	kg	28,070	24,290	30,924
水使用量	m ³	433	603	464

※二酸化炭素排出係数	0.526	kg-CO2/kWh	電力会社の調整後の係数
------------	-------	------------	-------------

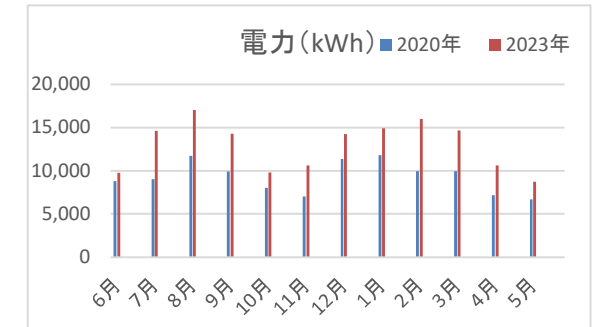
□環境経営目標及びその実績 2020年度の数値を基準とする

項 目		年 度		2023年		評 価	2024年		2025年	
		基準値		上段：通期 下段：						
		(基準年)		(目標)			(実績)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	59,679	119,358	81,701	○	119,358	0			
	基準年度比	2020年	200%			200%	0%			
	原単位	kWh/千円	0.053	0.106	0.071	○	0.106	0.000		
LPガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	182	182	35	○	182	0			
	基準年度比	2020年	100%			100%	0%			
	原単位	m³/千円	0.000	0.000	0.000		0.000	0.000		
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	7,624	11,437	8,602		11,437	0			
	基準年度比	2020年	150%		○	150%	0%			
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	67,486	130,977	90,338		130,977	0		
一般廃棄物の削減	kg	4,787	9,574	4,085	○	9,574	0			
	基準年度比	2020年	200%			200%	0%			
産業廃棄物の削減	kg	23,100	46,200	30,924	○	46,200	0			
	基準年度比	2020年	200%	134%		2	0			
水道水の削減	m³	363	726	464	○	726	0			
	基準年度比	2020年	200%	128%		200%	0%			
薬品使用量削減	kg	6	6	4.54	○	12	0			
	基準年度比	2020年	100%	76%		200%	0%			
環境に配慮した生産活動		行動目標（次項による）								

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標(2020年度の200%以内)に対し、137%と大幅に抑えることができた。次年度は、これらのデータを踏まえ目標値を見直す
・空調温度の適正化(冷房28℃±1℃ 暖房22℃±1℃)	○	
・不用時の消灯	○	
・機械設備・OA機器などのスイッチオフ	○	
エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)		
(冬季22℃±1℃)		



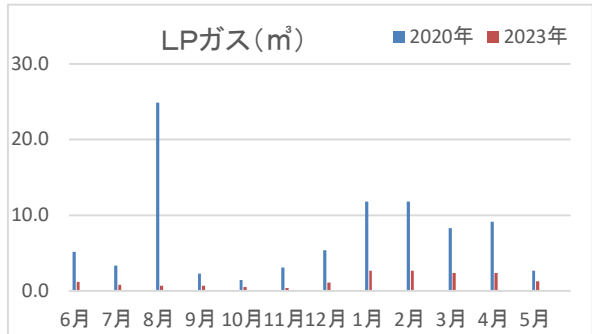
取組紹介欄



前年度同様、設定温度を表示し電気使用量削減の取組む

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	8,806	9,046	11,746	9,916	8,033	7,021	11,394	11,799	9,973	9,973	7,187	6,709
2023年	9,756	14,630	17,018	14,279	9,828	10,616	14,258	14,894	15,998	14,691	10,615	8,742

LPガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	お湯を使った評価試験が少なかったことでガスの使用量が削減された。次年度以降の目標値については再検討する。
・投込みヒーターを使う	○	



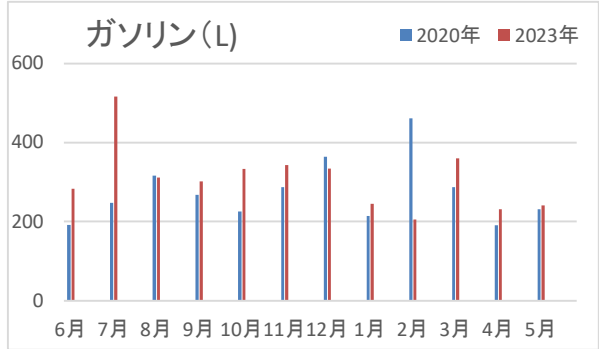
取組紹介欄



ヒーターを使用し、ガス使用量削減に取組む

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	5.2	3.3	24.8	2.3	1.4	3.1	5.4	11.8	11.8	8.3	9.1	2.7
2023年	1.2	0.8	0.7	0.7	0.5	0.4	1.1	2.7	2.7	2.4	2.4	1.3

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標(2020年度の150%以内)に対し、113%と大幅に抑えることができた。今後の事業活動を踏まえ次年度以降の目標値を検討する。
・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	○	
・暖機運転・アイドリングストップ	○	
・環境に配慮した運送プロセス	○	



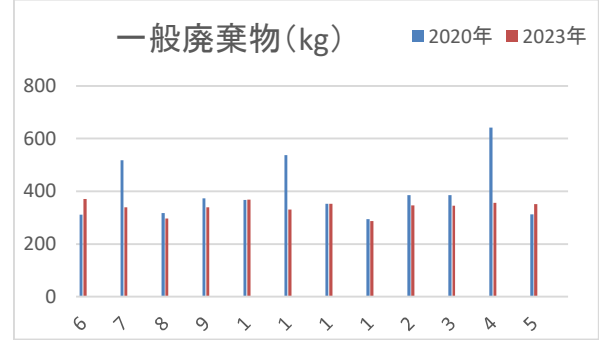
取組紹介欄



タイヤ空気圧チェック表

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	191	247	316	268	226	288	364	214	461	288	191	231
2023年	283	517	312	302	334	343	334	245	206	360	231	241

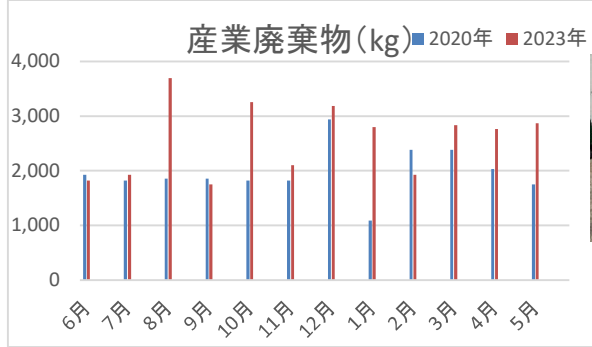
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標を達成はしているが、設定した目標値と大きな差がある為、次年度以降の目標値について検討する
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	△	



取組紹介欄

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	312	518	317	373	368	537	352	295	385	385	642	312
2023年	371	339	298	339	368	331	353	287	346	345	356	351

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標(2020年度の200%以内)に対し、133%と大幅に抑えることができた。今後の事業活動を踏まえ次年度以降の目標値を検討する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	



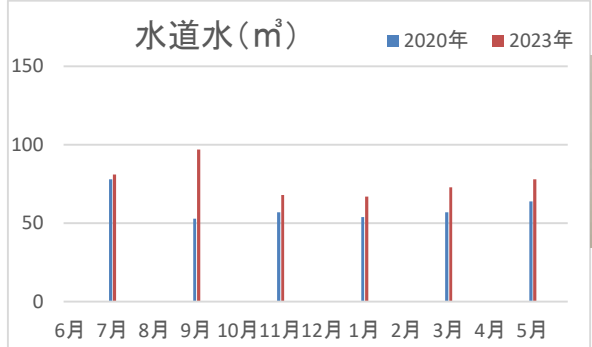
取組紹介欄



・素材別ボックスの設置

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	1,925	1,820	1,855	1,855	1,820	1,820	2,940	1,085	2,380	2,380	2,030	1,750
2023年	1,820	1,925	3,695	1,750	3,255	2,100	3,184	2,800	1,925	2,835	2,765	2,870

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	今年度は水を使った評価試験が少なかった影響で、使用量が抑えられた。次年度以降も使用量削減に努める。
・水洗トイレの水使用量を減らす	○	
・水を流しながらの洗い物はしない	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



取組紹介欄



・トイレに擬音装置取り付け

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	0	78	0	53	0	57	0	54	0	57	0	64
2023年	0	81	0	97	0	68	0	67	0	73	0	78

薬品使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	薬品を使った評価試験が少なかったことで、使用量が抑えられた。次年度以降も薬品の使用頻度について注視していく。
・使用する有害化学物質を削減する。	○	

取組紹介欄

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・グリーンマーク商品の購入	○	全体として、グリーン購入の割合が70%となり、目標を達成することができた。次年度以降もこの数値を維持できるよう努める。

取組紹介欄



グリーンマーク(エコマーク商品の購入)

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・顧客の需要から、環境配慮商品を増やす	×	今年度は環境に配慮した生産活動が出来なかった為、次年度で検討する。

取組紹介欄

	銀行	家裏	差額 (数量差)
梱包形態 (写真)	 380 × 280 × 84	 230 × 240 × 0.03 八角形 (縦190 × 横190)	
	 175 × 535 × 503 (標準品)	 420 × 230 × 400 (標準品)	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	洗浄設備
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

2023年5月21日から2024年5月20日の期間に苦情や要望など受付する該当事項はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/9/2	■実施場所 日本アルファ
■参加者： 社長、伊藤(弘)、山本(容)、藤井、谷、山本(篤)、矢田、間宮、岡田、水谷、佐藤、宮田、矢野(幸)、石川、田中、拝郷、中村、帯刀、清水、津田、竹村、土屋、黒川、木下、北住	
■実施内容： ☒ 避難訓練及びAEDの使い方	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
初期消火から避難まで火災マニュアルに沿ってスムーズに行うことができた。またAEDの使い方について、初めてAEDを使う人もいて、AEDの重要性についても再確認することができた。	
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

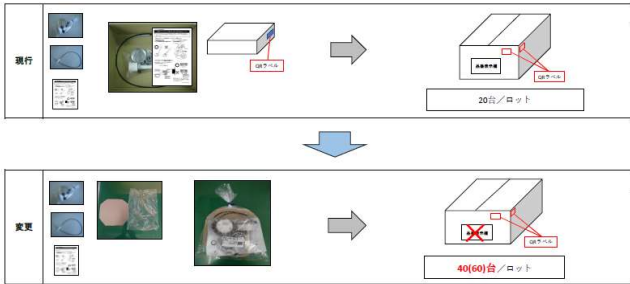
実施日：2024年8月20日

コロナウィルス蔓延から約4年半が経過し、昨年からは5類に分類されたことで、人類と共存している状態である。しかしながら、感染者は増加傾向にあり、楽観視できる状況ではない。その為、社内でのクラスター発生対策として、エアコン使用時においても窓を開けて換気の徹底を行っている。CO2削減の観点からは相反するものではあるが、止むを得ないものとする。尚、弊社を取り巻く国内の住宅設備機器関連事業については、人口減少により住宅着工数が減少が影響しているが、リフォーム需要は緩やかな上昇を見込んでいる。弊社としては、継続して生産設備の自動化を行い、全体的な効率化を図っていくことで、よりよい環境経営ができるよう努めてまいります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

○昨年度は下記のように梱包形態を変えることで、使用する梱包資材を削減しており、引き続き環境に配慮した取組を行なっています。



□編集後記

取り扱い部品が増えるごとに梱包資材増えることで、産業廃棄物も増加してしまい対応に苦労しております。